

「経済・財政・社会保障収支・労働需給バランス」

検討部会 2020年度 活動方針

1. 2020年度の作業目標

- ◆ WORK! DIVERSITY プロジェクト(以下「プロジェクト」という。)の効果分析の準備的試算
- ◆ プロジェクトの雇用効果の測定方法の検討
- ◆ COVID-19 の就労困難者への影響把握 (未定)

2. プロジェクトの効果分析の準備的試算

「経済・財政・社会保障収支・労働需給バランス」検討部会(以下「バランス部会」という。)の2019年度報告書の4で効果分析の考え方を整理した。

当初の予定では、モデル事業の中間的な成果を踏まえ、プロジェクトの効果分析を行うこととしていたが、COVID-19の影響により、2020年度のモデル事業の開始はできなくなった。現在のモデル事業の予定では、2020年度中は準備を進め、早くとも2021年度初頭からの開始となる。

このため、2020年度中にプロジェクトの効果分析を行うことは困難であるが、準備的試算を行うこととする。

準備的試算は、ひとりの追加的雇用が実現した場合に、どのような便益が発生するかを試算するものとし、2019年度報告の4.4.及び4.5.の方法を用いるものとする。

3. プロジェクトの雇用効果分析の測定方法

プロジェクトの効果分析の測定については、モデル事業の成果を踏まえて行うこととなる。モデル事業の実施は2021年度以降となるので、2020年度はモデル事業における雇用効果および費用の把握方法の検討を行う。

具体的には、モデル事業実施事業の実施の成果に基づいて推計することとなるので、そのデータの収集方法(事業者の報告事項及び様式等)について検討する。

報告事項及び様式の検討に当たっては、以下の点に特に留意する。

- ◆ 因果効果を推定するために必要なデータを得ること
- ◆ 実際に事業者が報告可能なものであること

4. COVID-19 の就労困難者への影響把握

プロジェクト全体として、2020年度は、COVID-19の就労困難者への影響把握が追加的な課題となっている。

これについては、まだ詳細が定まっておらず、バランス部会で検討すべきかどうか未定の状態であるが、場合によっては調査票の作成、分析等をバランス部会で行うこともありうる。